

不動産建設白門会 2025 年 5 月幹事会議事録

日 時 2025 年 5 月 15 日（木）17 時 00 分～18 時 20 分

場 所 連合会館 5F 502 会議室

出席者 須藤吉章，渡邊剛，増元和也，井上英樹，千葉雅代，竹内敬雄，佐々木雅人
池上勝也，佐藤元則，佐熊英明，矢内正弘，糸屋龍，安藤廣之，長尾行人
島田和幸，丸山純平，丸山瑞枝，松原有里枝，市川里恵子，阿部郁子
寺本健太，土井かずは，大平耕生，神越拓人

（以上，幹事 24 名）

委任状 酒井めぐみ，上笹貫統，菊地博之，林敏光，鶴見健治

欠席者 中田重幸，村上清和，酒井健太郎，児玉尚人

（敬称略，順不同）

総幹事数 33 名，出席幹事数 24 名，委任状 5 名によって
2025 年度 5 月幹事会は有効に成立。

【議 題】

1 代表幹事挨拶

代表幹事の須藤吉章氏より、新体制における会員数・取引件数増加の目標に向けて
幹事への協力依頼があった。

- 2 新入会員： 川島 正博（S55・経）
川島 正樹（H27・経）
石川 崇史（H31・商）

以上 3 名の入会を承認した。

- 3 退会会員： 石塚 文晴（H22・大学院理工法）
大久保 遼（H29・法）
加藤 峻輔（H28・法）

- 4 休会会員（継続）： 鈴木 賢哉（H8・法）

幹事会后・総会員数 482 名

5 定時総会報告

第 31 回不動産建設白門会定時総会議事録の回覧を行った。書式の調整を行った後に、
総会出席者より署名をもらいHPに掲載することを確認した。

6 2025 年度組織について

『2025 年度 不動産建設白門会 組織図』案が配布された。須藤代表幹事より、副
代表幹事を佐々木雅人氏、渡邊剛氏、糸屋龍氏、寺本健太氏選出の提案があり、幹事
会として承認した。

渡邊剛副代表幹事より、組織をシンプルな形にする為に、情報委員会・組織委員会・研修委員会・親睦委員会・事務局という5つのセクションを設置する提案があり、各委員会の主な職務について説明があった。

今までの部会長という名称から委員長へ変更して、各委員の担当制へ移行したい。過去の傾向として、委員長だけ決まってしまう結果、委員長一人だけが動いてしまうことになる。各委員会との連携を持たせる為に他の委員会担当へ互いに指示を出していく体制にしていきたい。各委員長が各委員会のトップを務める為、担当委員から報告を受けて、全ての業務内容の把握はするが、全ての業務に対して委員長が何でも中心で動くことは止めていきたい。各担当が委任を受けて責任を持ち、それぞれの業務進捗を各委員長へ報告をしていく。委員長の負担を減らして、各担当者にも仕事を覚えてもらいたい。

副代表幹事は管轄や権限を持つものではなく、佐々木雅人氏は事務局補佐、渡邊剛氏、糸屋龍氏、寺本健太氏については各委員会の手伝いをしていくことになる。

研修委員会については、寄附講座の検討をはじめ、竹内敬雄氏にも研修委員会への協力を要請したい。

研修委員会は定時総会時研修会、秋の研修会、新入オリエンテーションの主要3つの行事以外で、建築環境研究会との連携を視野に活動をして欲しい。定例会参加者が増えていけば、情報交換会ではミニセミナーの時間を割けないので。

情報交換委員会について、情報交換についても時代と共に変わってきていて、昨年よりも1～2割参加者も増やしていきたいと考えており、次世代のことも考えて若手会担当はじめ他の人手も欲しい。但、各委員の兼任は表立って出さない方向でいる。

継続性を持たせる為、コンプライアンス担当は高橋仁氏、中央大学担当は竹内敬雄氏、増元和也氏にお願いする。組織委員会の若手会担当の代表を土井かずは氏へ依頼。

大学不動産連盟理事会・運営委員会担当について須藤代表より、各校から、理事が2名（須藤代表、佐々木雅人副代表）高橋仁氏顧問。

懇親会まで担当しなければならないので、駿河台キャンパスの Good View Dining にて懇親会を行う関係から、手伝ってもらうメンバーが必要なので、声掛けをしていく予定。

以上を踏まえて、新体制組織図を幹事会として承認した。

7 2025 年度年間予定について

情報交換会の時間を早めてみてはどうかという意見があり、幹事会として議論した。

- ・ 17 : 00 から 18 : 30 開始に変更した経緯があるが、目に見えた成果は無かった。
- ・ 白門会の若手含めて参加できるかの問題と、売買宅建士会と情報交換会の成約件数が問題になっていた。白門会の活動のどこへ寄付するのかの問題だけのこと。
- ・ 幹事会を早くするか短くするか。SNS を利用して事前に議論してみてもどうか。
- ・ 今年度の幹事会が何を指すのか目標数値を打ち出すのが、行動規範を高めていくきっかけになるのではないか。
- ・ 他の 17 大学、地域会は 18 : 00 スタートが圧倒的に多い。
- ・ 若手会の会員多くいるのに、定例会参加者が増えないことへの対策として、若手の懇親会費を安くして若手に優しい会を目指してはどうか。
- ・ 懇親会で名札を付けて参加していた頃はしゃべりやすかった。良い伝統があった。
- ・ 総会コンテンツの様に出席回数 1 位を表彰する若手アワードを検討してはどうか。
- ・ 初めて来た人が次も来ることが大事。懇親会の時に、上手く話してくれる人から白門会の魅力や同好会について説明があった方が良い。

以上の意見を踏まえて

- ① 6 月は試験的に情報交換会を 17 : 30 スタートとする。
- ② 会費の割引は 7 月に実施するか、若手会と組織委員会において検討する。
- ③ 名札（バッジ）は情報交換会から付けてもらう。白紙の名札 30 個程度は事務局にて毎回用意しておく。

次回定例情報交換会にて実施することを、幹事会として承認した。

8 各委員会からの報告

建築環境研究会より、4 月 23 日（水）第 17 回建築環境研究部会を開催し 3 月の幹事会にて承認を得た通り、外部講師である片山隆之氏へのお車代 10, 000 円、懇親会費 4, 800 円、参加者 14 名に対して 1 人あたり 800 円の補助を含む合計 26, 000 円の収支報告があった。幹事会としてこれを承認した。

広報委員会より、昨年度の 30 周年記念会報誌が期を跨いだ関係で、今年度の予算として税込 215, 600 円の記念会報誌発行費用を幹事会として承認した。又、30 周年記念号と 30 周年記念新聞を併せて会員へ送付する為の費用見積もりが別途出てくる報告があった。

売買宅建士会より、令和 7 年 3 月 19 日（水）開催が参加者 16 名、懇親会 12 名で補助が 23, 760 円、令和 7 年 4 月 9 日（水）開催が参加者 22 名、懇親会 20 名、補助が 8, 430 円であった。3 月の成約報告は総会報告事項に含まれており、4 月の成約件数が 3 件で成約金 65, 000 円であった報告があり、幹事会として承認した。

9 その他

佐々木雅人副代表幹事より、総会の研修会にて中央大学準硬式野球部前監督の池田浩二氏に講演してもらい、30,000 円を寄付するということになっているので、振込用紙に基づいて5月中に振込む報告があり、幹事会として承認した。大学経由で寄付先を指定する方法で良いかは別途確認する。

増元和也氏より、3月幹事会で議題として上がっていたが、2026年3月末までに200万円以上寄付をした団体について、駿河台キャンパスの中2階に大きいサイズで銘板を掲げられることになり、不動産建設白門会は既に小さいサイズの銘板はあるが、現在130万円超の寄付をしていて、200万円まで残り678,000円の寄付が必要となる。2024年度支部活動支援金が10万円、記念誌発行補助金10万円それぞれ学会から補助金を受けていることに加えて、2025年度支部活動支援金10万円を含めた合計30万円を補助してもらうことになる。2026年3月末までに補助金200万円を達成する為に①今年度予算から補助金分の30万円支出を認めてもらう。②678,000円から30万円を差し引いた残り378,000円をどのような名目で寄付金として認めてもらえるか審議していきたいと提案があった。

今後、増元和也氏が作成するプレゼンテーション資料を基に、予算はあるけれども、母校に寄与することを会員に理解してもらってから寄付を検討していくことを幹事会として確認した。

須藤代表幹事より、連盟理事会において昨年度の寄付金発表があり、件数では不動産建設白門会が1位、成約金額は6位の成績。全ての地域会にて寄付をしているのは不動産建設白門会のみであったことが報告された。

来週土曜日に学会の総会があり、不動産建設白門会の支部長に須藤代表幹事、幹事長に千葉事務局長が就任する報告があった。

次回 令和7年7月10日(木) 17時から 第2回幹事会開催予定

令和7年6月9日

議事録作成者 神越 拓人